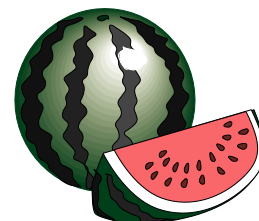


神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第177号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金宥武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7F
 TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2017年8月号



【 今月のコンテンツ 】

- 神奈川イグレンご案内 1
- 「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)レポート 2
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 3、4、5
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 6

【 神奈川イグレンご案内 】

先月号でご案内しましたアンケートにご協力頂きました皆様、誠にありがとうございました。
 今後、広く意見を伺いながら会員活動の支援に繋げて参りたいと思います。
 例えば、もっとこうしたら良くなるとか、この様な企画をして欲しいなど皆様方の意見が新しいイグレンを作り上げていく事になります。そこで先月に引き続きアンケートの実施をさせていただき運びとなりました。

<参考例>

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> ① 公的補助金・助成金の申請 | <input type="checkbox"/> ⑦ 医療・福祉分野 |
| <input type="checkbox"/> ② 人材育成 | <input type="checkbox"/> ⑧ 中小企業政策・県政政策 |
| <input type="checkbox"/> ③ 販路開拓 | <input type="checkbox"/> ⑨ 新分野進出 |
| <input type="checkbox"/> ④ 街おこし・地域おこし | <input type="checkbox"/> ⑩ 農商工連携 |
| <input type="checkbox"/> ⑤ M&A (企業の買収・譲渡) | <input type="checkbox"/> ⑪ 異業種連携・交流 |
| <input type="checkbox"/> ⑥ 事業承継 | <input type="checkbox"/> ⑫ その他 |

別紙、返信用ファイルを添付しておきますのでご協力をお願い致します。
 返送先はイグレン専務理事の芝宛にお願いします。

- 【 アンケート締切 】 8月31日
 【 連絡先 】 ① イグレン宛電話・FAX 045-228-7331
 ② siba.tadashi@gmail.com

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)レポートのご案内

イグレン事務局 松井利夫

第53回フォーラムは平成29年8月2日に開催。初めに、アラテン(株)の荒井さんから、小中高生へのプログラミング教育用低価格コンピューターの紹介がありました。

このコンピューターは価格が小学生でも買える5,400円です。既に英国を中心に1400万台売れているそうです。OSはLINUXサーバー教育が組み込まれていて、小学生には、プログラムの論理学習を、中学生にはプログラムと英語を、高校生には就職を見据えた学習が出来るようになっているとのことでした。

次に、尾下紙業(株)の尾下さんから業務内容について説明がありました。段ボールは、19世紀に英国で貴族がシルクハットを被った際に通気を良くする目的で発明されたといわれています。箱といえば、昔の箱は木箱でしたが、段ボール製の函が出来るようになってからは、軽くて、使い勝手が良いという理由で大いに普及しました。段ボールを一番多く使っている業界は、飲料業界や食品加工業界で、全体の40%を占めています。最近では、通販業界での使用が増えています。段ボールは、環境に優しくリサイクルが可能です。古紙の90%以上が段ボールとして再生されています。段ボール製品には、災害時のトイレ、ベッド、間仕切りなどがあります。弊社ではテーブル、イス、棚などいろいろ作っており、作業は全て手造りです。

次は(株)シーエーの松井さんから、高輝度蓄光製品のその後の販売状況の説明がありました。蓄光製品とは、太陽や照明等の光源から光(紫外線)エネルギーを吸収して、蓄積したエネルギーを光として放出する素材ですが、避難誘導標識として使われています。東北の震災以来、東京都の湾岸地帯にある江東区、足立区、荒川区にある小中学校の体育館などが、災害発生時の避難場所とし整備しようという動きが高まりました。そのためあって、教育委員会や区役所に当社の蓄光製品を設置して貰うよう働きかけた結果、昨年、中学校に当社製品の蓄光帯木製手摺を設置したとのことでした。

最後に、「紅茶」を輸入販売しているコージュ(株)の速石さんから、「茶の木」についての説明がありました。「茶の木」には、アッサム種と中国種の二種類あり、アッサム種は、熱帯のスリランカやインドで栽培されています。中国種は、温帯の日本、台湾、中国等で栽培されています。霧が良く発生する1200mから1800mの高地で栽培したものが高級品とのことでした。良質な「紅茶」には、豊富なポリフェノール含まれています。ポリフェノールは抗酸化作用があり血液循環が改善されるそうです。また、「紅茶」の美味しい淹れ方についての説明もありました。①色が出るのに1分、②味が出るのに2分、③調和が取れるのにさらに2分、計5分を待つのが贅沢な淹れ方であり、必ず熱湯を用いなければいけないとのことでした。説明の合間に、A.F.ジョーンズ社のいろいろな種類の紅茶を試飲させていただきました。

イグレン会員グループ・プロジェクト状況

【第185回 日韓ビジネス協議会】

高橋 導徳

第185回・日韓ビジネス協議会は「暑気払いおよび施設の見学会」です。

1. 日時：2017年8月30日(水) 午後2時00分～3時30分 施設の見学
午後4時00分～6時00分 暑気払い会(近くの店)
2. 集合場所：千葉工業大学 東京スカイツリータウンキャンパス8階 エレベーター前
3. 集合時間：午後2時 (高橋TEL：080-3171-4069)
4. 会費：1,000円、 暑気払い会：実費精算

【NPO 法人 C&S 経営支援協会】

理事長 松井利夫

「人材不足時代を勝ち抜く中小企業の人材採用・育成法セミナー」を開催します！

先月号で、当NPOが9月から12月までに開催予定のセミナー・講座をお知らせしましたが、その第一弾として9月15日(金)に標記のセミナーを次のような要領で開催しますのでお知らせします。経験豊富な講師を招いて、中小企業の皆様に役立つ人材採用の戦術などをご説明しますので、この機会に是非、中小企業経営者または、労務担当責任者の方にご来場くださいますようお願いいたします。

1. 開催日時 平成29年9月15日(金) 午後6時～午後8時
 2. 会 場 神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
 3. 受講料 1000円(資料代として頂きます)
 4. 定 員 15名(定員になり次第締め切ります)
 5. 講 師 中小企業診断士 人事改革オフィス代表 石川征郎氏
- 【申込・問合せ先】NPO C&S経営支援協会 TEL/FAX 045-845-1566
E-MAIL toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp

詳しくは、別紙「人材採用・育成法セミナー」開催案内(チラシ)をご覧ください。

予告! : 「中小企業会計の啓発・普及セミナー」の開催

1. 開催日時 : 平成29年10月13日(金) 18:00~20:00
 2. 会 場 : 神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
 3. 受講料 : 無料
 4. 講 師 : 中小企業診断士 NPO 副理事長 小林 巽
- 詳しくは、別紙「中小企業会計啓発・普及セミナー」開催案内(チラシ)をご覧ください。

主催 : NPO C&S 経営支援協会 後援 : 神奈川県異業種連携協議会

【問い合わせ先】 NPO C&S 経営支援協会 (ケイタイ 090-9130-0119) 又は
神奈川県異業種連携協議会 (TEL 045-228-7331) まで

第41回 海老名サロン開催要領

愛 賢司

1. 日 時 9月1日(金)午後3時より
2. 会 場 神奈川中小企業センター6階大研修室(横浜市中区尾上町5-80)
*根岸線「関内駅」北口改札口右側出て、線路沿い桜木町駅方面徒歩4分
3. 進 行 (時間配分は質疑も含む目安です)
4. 交流会 (会場未定) 参加費 3,500円(予定)
 - (1) 資料確認及び報告—県内自治体中小企業振興条例比較表(イグレン) (3時00分~3時40分)
 - (2) 講演「AIで日本の酪農を変えることができるのか?—酪農ビッグデータコンソーシアムから—」
講師 東京理科大学基礎工学部教授 相川直幸 氏 (3時40分~5時00分)
 - (3) イグレンからの要望 (10分休憩)
 - (4) 参加者からの報告 (5時10分~5時45分)

第77回三浦半島経済人サロン

会員 平野和夫

7月25日、神奈川新聞横須賀支社で開かれ、全国相続協会相続支援センターの横浜支部長、青木信三氏が「いまどきの相続事情—遺言書から民事信託(家族信託)へ」のテーマで講演しました。青木さんは同支援センターについて、「遺産相続業務・遺言書の普及を通じて地域や家族の絆を高める」ことを目指し、志ある全国の行政書士・税理士・司法書士・弁護士など専門家(士業者会員)とネットワークを組み、遺言書の普及・セミナー開催、相続に関する支援を通じて健全な地域づくりに貢献する団体、と説明しました。

「円満相続遺言支援士」の資格を持つ青木さんは「遺言書の普及活動を通じて、相続が家族・兄弟で争う「争族」になってしまう、家族の絆の脆さを数多く見てきました。この問題は他人事ではなくいつでも自分にも起こり得ると自覚して、家族の絆を太くするにはどうすれば良いのか、ヒントを見つけて欲しい」としたうえで「遺言書は家族の絆を太くするのに有効な手段ですが、家族への想いを可能にする家族信託が最近注目されている」と家族信託について詳しく話しました。

「家族信託とは、財産・遺産を持つ人が自身の老後や介護などに必要な資金の管理・給付を行う際、保有する不動産や預貯金などを信頼できる家族に託し、管理・処分を任せる家族のための財産管理のことで、信託銀行などに預けるのとは違います。被相続人(本人)が家族や親族に遺産の管理を託すため、高額な手数料報酬は発生しないのが特徴で、資産家を対象にしたものではなく、誰にでも気軽に利用できる仕組みです」—家族信託についてこう説明しました。相続、成年後見との違いについても話しました。

また、青木さんは「私たち親子・兄弟は仲がいいから、親の遺産を巡って「争族」にはならない」という人が多いが、息子・娘の連れ合いが口出しをしてトラブルに発展するケースもあり、必ず自筆の遺言書を作っておきましょう」と貴重なアドバイスをしました。

この日、私(76歳)を含めて参加者は高齢者の方が多く、「ある人物に1円たりとも渡したくないが、方法を教えてほしい」「近所に認知症で何もわからない高齢者がいて、自分の妻を含めて地域住民が面倒を見ている」など質疑応答、意見表明がありました。

第69回 西湘サロンに参加して

イグレン広報 宗和 正憲

7月4日(火)西湘サロンに伺いました。今回は小田原で地域密着営業を展開しているスーパー「ヤオマサ」の名誉会長であり(株)報徳農場 代表取締役 田嶋 享 氏をパネラーとしてお招きしました。経営というものは浮き沈みがあるもの。失敗して何回転んでもまた立ち上がればよい。一人で悩まず、経験者の話を聞くこと。そこに解決の糸口が見つけられると言われます。そこで、今までの経験を次世代へ伝承していきたいとの思いから「九転十起の会」を設立されました。

田嶋さんは1935年小田原生まれの82歳。父上が経営する八百政商店に入社後、1989年に「ヤオマサ」の社長になりました。今後はスーパーの時代が来る(顧客が望んでいる)と判断し八百屋からスーパーへと転身を遂げます。しかしながら地元個人商店は大反対。スーパーで全ての物を扱うなど死活問題だとして嫌がらせにも会い、仕入れもうまく出来ないという状況さえあったようです。そのような折にも常に人は何を望んでいるのか、自分達は何をすべきなのか。報徳の思想を活動指針としてきたようです。報徳の教えというのは二宮尊徳が説いた経済思想で、神道、仏教、儒教などと農業の実践から編み出された豊かに生きる為の知恵の事です。世の中の為になることならすぐ行動をするという行動力には敬服するものがあります。

地域の農業の衰退の様子を見て地産地消の店舗展開をしたり、障がいを持つ人達の雇用率の低さに驚愕し、彼らに農業に従事してもらったり一般の方にも体験農業をしてもらったりと今では「農福連携」ということで農業と福祉を融合した事業も手掛けられています。

多くの企業の中で全ての従業員が「自分の会社はとても良い」という評価をすることはそうあることではありません。「社員にも豊かな生活をしてもらいたい」という思いがベースにあり、会社、従業員、顧客それぞれが Win Win の関係で会社が成り立っていることが良くわかります。

先日 tvk (テレビ神奈川) の「神奈川ビジネス Up To Date」において放映されたヤオマサさんの会社についての特集が You Tube でアップされていますのでご覧頂きますと何故会社がうまくいっているのか、ビジネス成功のヒントが見つかるのではなからうかと思えます。皆を応援することで成功する企業の本質を見た。そんなサロンでした。

* インターネットの動画サイトで「ヤオマサ」を検索しますとすぐ出てきますのでよろしければご覧くださいませ。

異業種交流会シフト21 [【http://shift21.jimdo.com/】](http://shift21.jimdo.com/)

有村 知里

< 異業種交流会シフト21 視察研修会のご案内 >

【 日 時 】 9月10日(日)～11日(月) 1泊2日

☆優良企業を訪問し、現場を見て、経営者から直接話をお伺いします。

沢根スプリング株式会社様 (静岡県・浜松市) 訪問

～「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」(中小企業庁長官賞) 受賞企業

☆皆で感想や意見を述べあい、違った視点・考え方から学びます。

☆バスによる立ち寄り先も多く、皆で大いに語り合う、充実した2日間です。

《沢根スプリング株式会社 (浜松市南区)》 <http://www.sawane.co.jp/>

設立 昭和41(1966)年5月10日 資本金 3,000万円 社員数 51名(男子39名・女子12名)
営業品目 ばね及び関連製品の製造販売 / 自社製品

- ① 自動車メーカー依存から、自社製品の強化へチャレンジ。20年以上かけて自社製品比率を50%以上に上げた
 - ② 価格競争ではなく、非価格競争への転換に成功
 - ③ 社員を大切にする経営を実践。社員のやる気が、創立以来51年間黒字経営という好業績をもたらしている。
- ★ 沢根孝佳社長様から直接お話いただきます。(社員の取り組み事例紹介、工場内見学、質疑応答)：視察の見どころについては別紙ご参照下さい。

異業種交流会シフト21 とは

シフト21は平成8年から活動している異業種交流会です。

多彩な経営者・起業家が集い、外部講師による講演や会員のプレゼンなどで研鑽を図りながら、ビジネスに繋げる交流を図っています。

お問合せ・お申込みは事務局・有村まで。(shift21info@gmail.com)

	尾上町サロン	西湘サロン 第70回	海老名サロン 第41回	三浦半島経済人サロン 第78回
日程	9月01日(金) 18:00~20:30	09月5日(火) 18:00~20:00 開場は17:30~	9月1日(金) 15:00~	9月19日(火) 18:00~ 開場は17:30~
場所	神奈川中小企業センター703 イグレン事務局	おだわら市民交流センターUMECO 小田原市栄町一丁目1番27号	神奈川中小企業センター6階特別研修室	神奈川新聞社 横須賀支社5階会議室 横須賀市小川町21-9
連絡先	イグレン(芝)	イグレン(吉池)	愛賢司	堀込、芝、鶴野、西澤
内容	参加費:1,000円	「絵画の制作~出合いを求めて~」 東海大学 教養学部芸術学科美術学課程教授 河野孝博氏 参加費:1,000円	「AIで日本の酪農を変えられることができるのか?—酪農ビッグデータコンソーシアムから—」 東京理科大学基礎工学部教授 相川直幸氏 会費:3,500円	詳細は後日連絡 参加費:1,000円

皆さんこんにちは。梅雨明け宣言したにもかかわらず毎日のようにどこかで雨。こんな夏は今までありませんでした。なんだか不透明な気候ですがこれに近いのが北朝鮮とアメリカの関係。明らかに不透明です。「広島上空に弾道ミサイルを通過させ、グアムまで飛ばすぞ」などの威嚇行為が続いています。この先の世界はどこに向かうのでしょうか？

AIの進化に伴い人の暮らしも楽になる一方、ネットを通じてしか意思の疎通がなされない世の中になると人同士の語り合いが少なくなりコミュニケーションは崩壊、自分のやりたいようにやる。という驚異的な世界が出来上がります。映画のターミネーターの世界も今後あり得る話でこの事に危機感を覚えます。映画って凄いですね。何十年前に作られた作品の多くはその通りになってきています。この先世界はどこに向かうのでしょうか？

「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出合いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。

伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。神奈川イグレンへの連絡問合せは、Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp



神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】①菊地②指方③加藤④愛⑤芝

【木】①②③④⑤ 松井 利夫【金】①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階インキュベートルーム703号
神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com